

# 2011年度第3四半期 決算公表参考資料

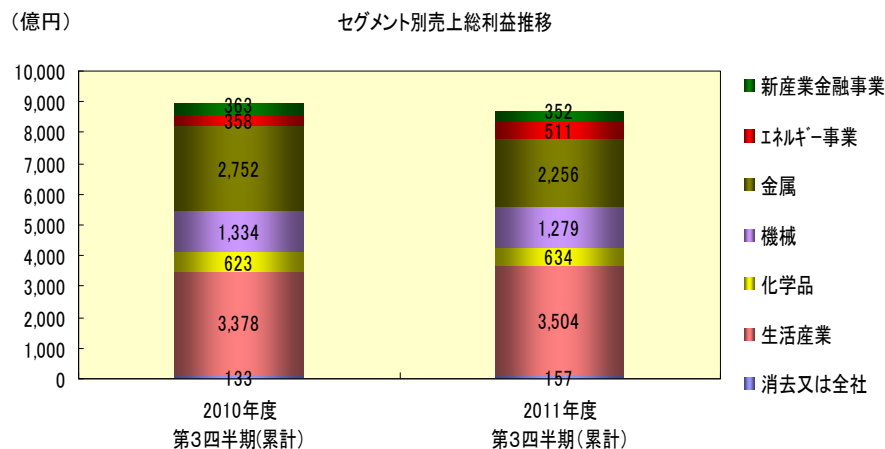
2012年1月31日

三菱商事株式会社

## 主要PL項目の前年同期比増減(9ヶ月)

| (億円)  | 2010年度<br>第3四半期(累計) | 2011年度<br>第3四半期(累計) | 増減    | 増減率   | 2011年度<br>通期業績見通し<br>(2011年11月公表) | 達成率 |
|-------|---------------------|---------------------|-------|-------|-----------------------------------|-----|
| 売上高   | 143,844             | 151,697             | 7,853 | 5%    | 213,000                           | 71% |
| 売上総利益 | 8,941               | 8,693               | ▲ 248 | ▲ 3%  | 12,500                            | 70% |
| 営業利益  | 2,710               | 2,330               | ▲ 380 | ▲ 14% | 3,600                             | 65% |
| 当期純利益 | 3,622               | 3,702               | 80    | 2%    | 4,500                             | 82% |
| 基礎収益  | 4,850               | 4,728               | ▲ 122 | ▲ 3%  | 6,250                             | 76% |

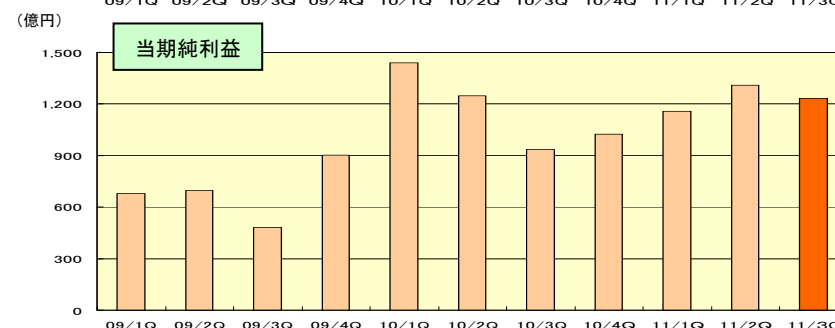
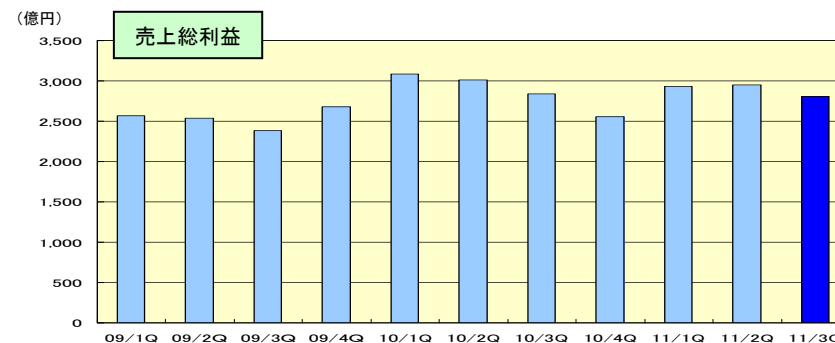
基礎収益＝営業利益(貸倒引当金繰入額控除前)＋利息戻り＋受取配当金＋持分法による投資損益



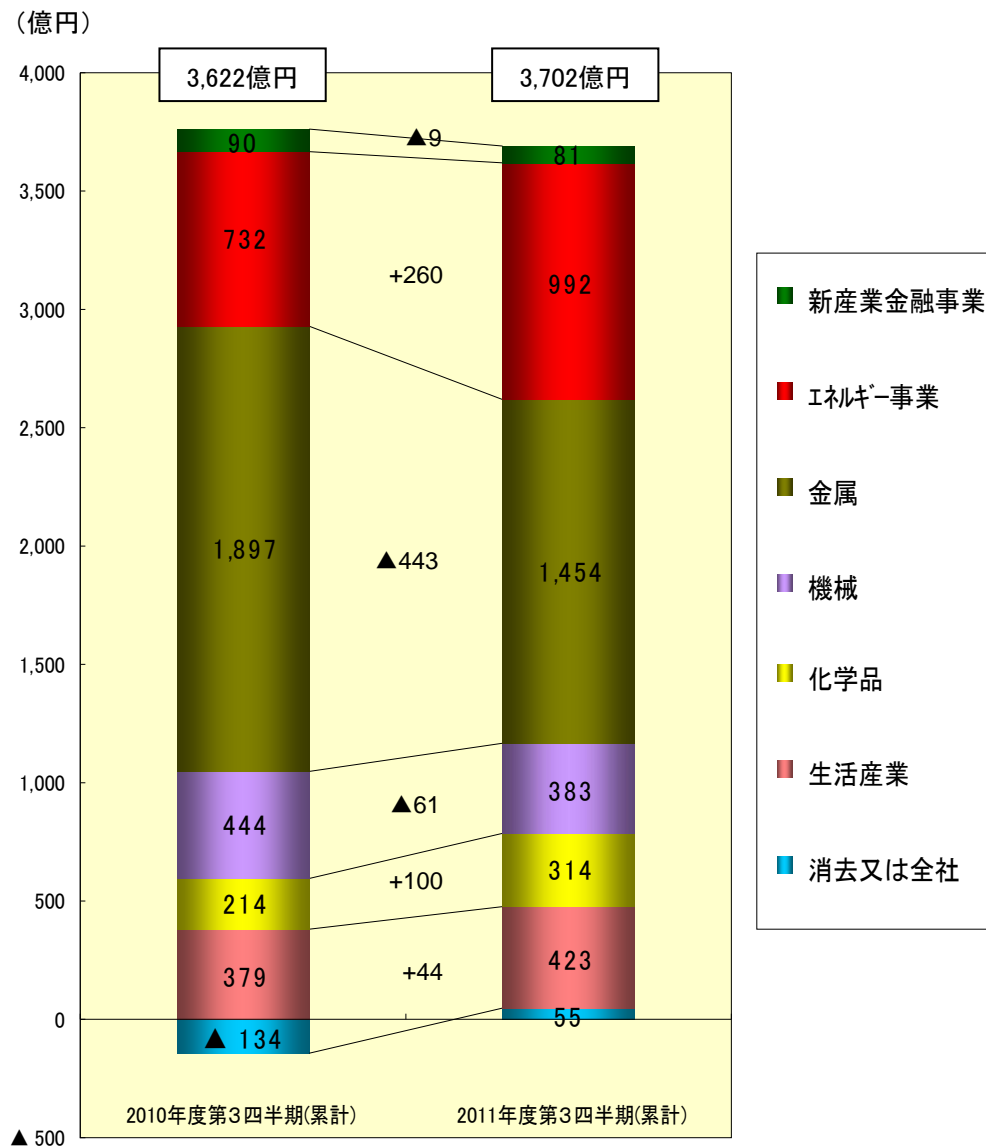
・本資料における「当期純利益」は、非支配持分を除く、当社株主に帰属する当期純利益の金額を表示しております。また、「株主資本」も、非支配持分を除く、当社株主に帰属する資本の部の金額を表示しております。

・連結子会社における決算期の変更、及び株式の追加取得により新たに持分法適用となった会社があるため、米国会計基準に基づき過去の数値を適時的に調整しております。

### 過去のトラックレコード(四半期ベース)



## セグメント別当期純利益の前年同期比増減



### セグメント別増減理由

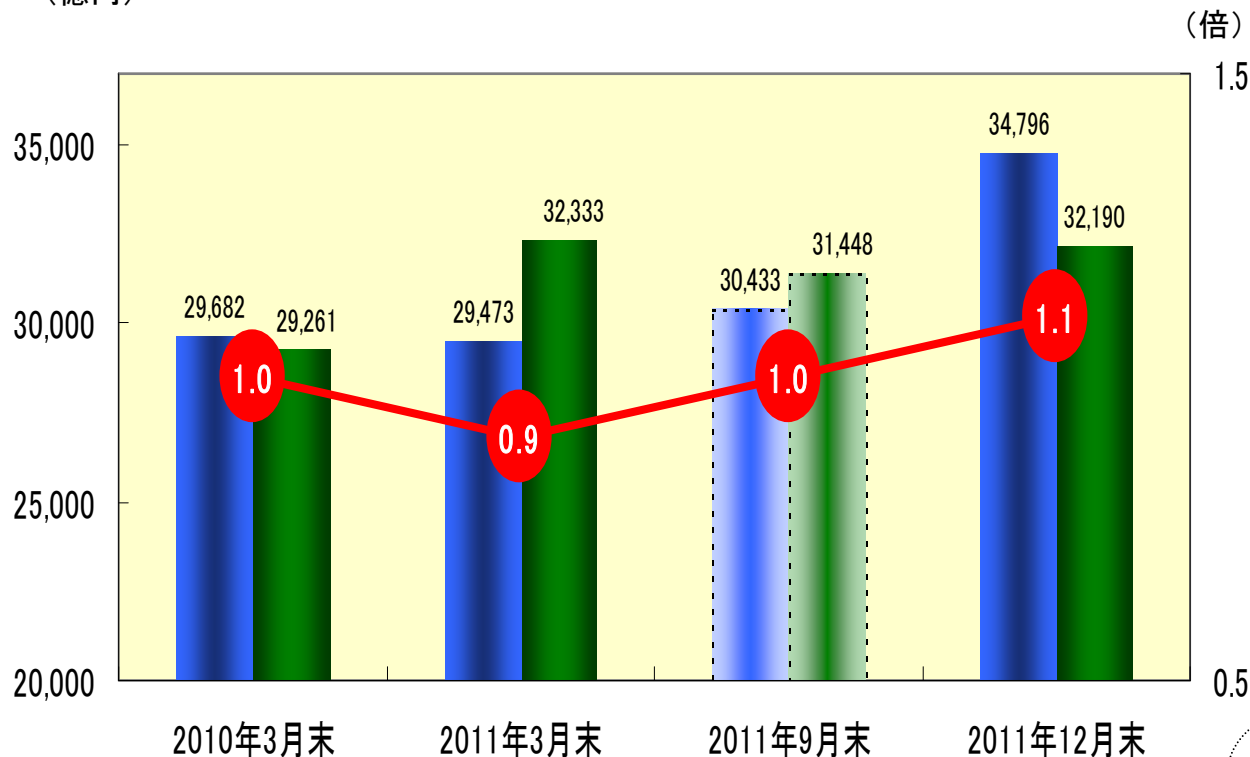
- 新産業金融事業(10%減益)**  
リース関連事業の収益が改善したものの、前年度に発生した海外不動産売却益の反動により減益となったもの
- エネルギー事業(36%増益)**  
前年度の株式売却益計上の反動があったものの、海外資源関連投資先からの受取配当金の増加や、油価上昇に伴う海外資源関連会社の持分利益が増加したことにより増益となったもの
- 金属(23%減益)**  
前年度のチリ鉄鉱石関連子会社における株式交換益計上の反動、及び豪州資源関連子会社(原料炭)における販売数量減などにより減益となったもの
- 機械(14%減益)**  
建設機械事業等での取引増加があったものの、海外自動車事業における販売減や為替の影響、事業撤退に伴う損失、及び前年度の株式売却益計上の反動などにより減益となったもの
- 化学品(47%増益)**  
親会社での取引好調による利益増加、石化事業関連会社などでの取引好調による持分利益増加、及びプラスチック事業子会社の買収に伴うパーゲンパーチェス益の計上などにより増益となったもの
- 生活産業(12%増益)**  
国内の関連会社における震災関連損失の計上などによる持分法損益の減少や株式の減損(日清オイリオ)があったものの、食料関連子会社における取引利益の増加や株式売却益の計上などにより増益となったもの

### 資源価格の推移

|                 | 2010年度<br>第3四半期<br>(累計) | 2011年度<br>第3四半期<br>(累計) | 増減    |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|-------|
| 油価(ドバイ)(\$/BBL) | 78.8                    | 108.1                   | +29.3 |
| 銅価格(\$/MT)      | 7,636                   | 8,544                   | +908  |
| アルミ価格(\$/MT)    | 2,177                   | 2,364                   | +187  |

## 株主資本と有利子負債の推移

(億円)



■ 有利子負債 (NET) ■ 株主資本 ● 有利子負債倍率 (NET)

(倍)

### 主な株主資本増減要因 (2011年3月末比)

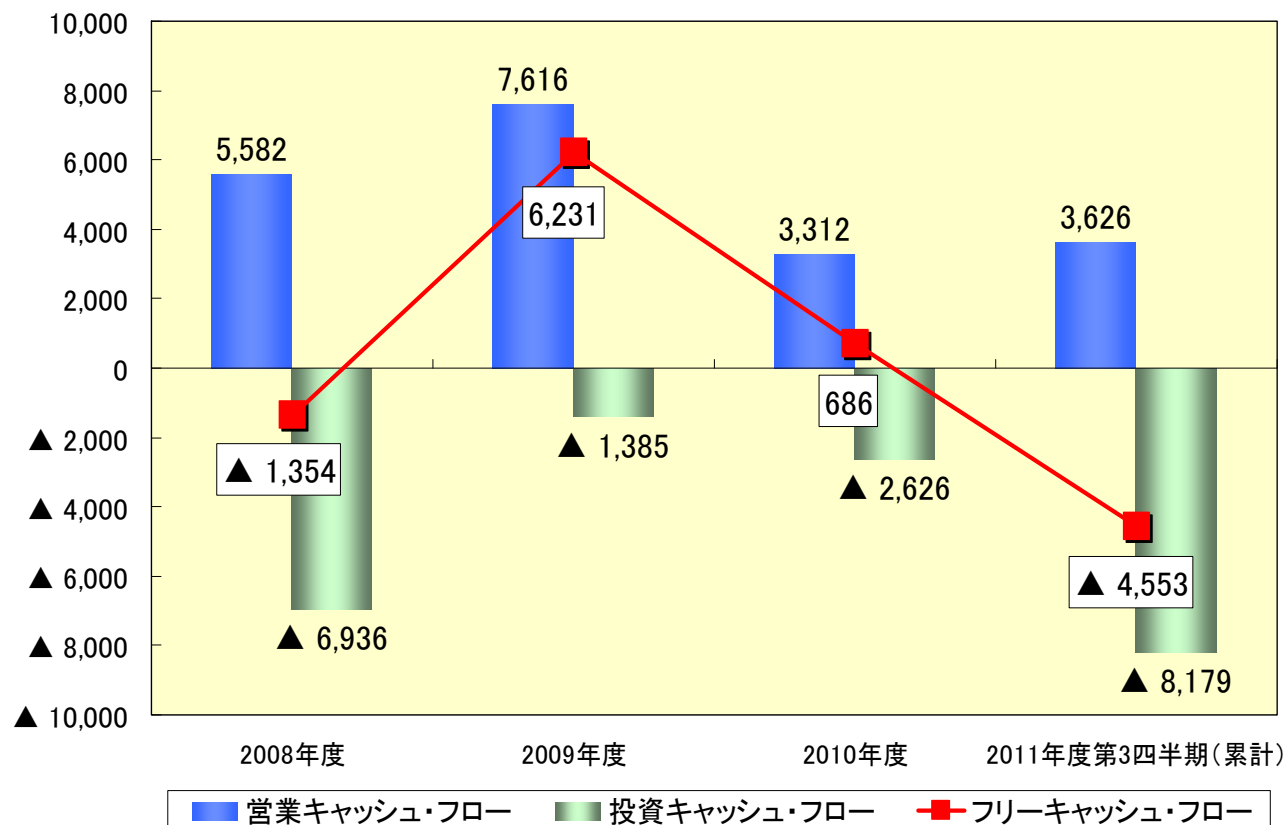
- ① 当期純利益の積み上がり (3,702億円)
- ② 配当金支払 (▲1,168億円)
- ③ 未実現有価証券評価益の減少 (▲861億円)  
 ……主に海外銘柄の株価下落による保有上場株式の含み益の減少
- ④ 為替換算調整勘定の悪化 (▲1,604億円)  
 ……対豪ドルなどでの円高の影響

### 為替換算調整勘定への通貨種類別影響額(2011年3月末比)

| 通貨種類 | 為替換算調整勘定への影響額 (概算・億円) | 2011年12月末レート | 2011年9月末レート | 2011年3月末レート | (参考) 2010年12月末レート |
|------|-----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------------|
| 米ドル  | ▲ 350                 | 77.74        | 76.65       | 83.15       | 81.49             |
| 豪ドル  | ▲ 650                 | 79.12        | 75.17       | 86.08       | 83.13             |
| ユーロ  | ▲ 200                 | 100.71       | 104.11      | 117.57      | 107.90            |
| ポンド  | ▲ 100                 | 119.81       | 119.77      | 133.89      | 126.48            |
| パーツ  | ▲ 150                 | 2.45         | 2.46        | 2.75        | 2.70              |

## キャッシュ・フローの状況

(億円)



### 2011年度第3四半期(累計) キャッシュ・フローの状況

○**営業キャッシュ・フロー**  
 運転資金負担が増加したものの、  
 営業収入や資源関連投資先からの  
 配当が堅調に推移したことにより  
 資金増

○**投資キャッシュ・フロー**  
 新規投資案件の実行により資金減  
 (グロス投資額：約1兆100億円)

- 【新規投資案件の主な内容】
- ・アングロスール社 株式新規取得 (約4,200億円)
  - ・コール&アライド社 株式追加取得
  - ・豪州原料炭事業 維持・拡張

## 市況の状況

### 商品市況・為替・金利の状況

2011年11月1日に公表した通期業績見通し前提(当期純利益4,500億円)と第3四半期実績(3ヶ月)との差異

|                     | 第3四半期<br>見通し前提<br>(a) | 第3四半期<br>3ヶ月実績<br>(b) | 増減<br>(b)-(a) | 当期純利益に対する損益インパクト   |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|---------------|--|
| 為替(YEN/\$)          | 75.0                  | 77.4                  | 2.4           | 1円円安(高)につき年間25億円の増益(減益)インパクト   |
| 円金利(%)<br>TIBOR     | 0.40                  | 0.34                  | ▲ 0.06        | 取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。   |
| US\$金利(%)<br>LIBOR  | 0.50                  | 0.48                  | ▲ 0.02        |  |
| 油価(\$/BBL)<br>(ドバイ) | 95.0                  | 106.5                 | 11.5          | \$1上昇(低下)につき年間10億円の増益(減益)インパクト   |
| 銅地金(\$/MT)          | 8,708                 | 7,489                 | ▲ 1,219       | \$100低下(上昇)につき年間5億円の減益(増益)インパクト。<br>但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画(設備投資)等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみで単純に決定されるものではない。 |
| アルミ地金(\$/MT)        | 2,400                 | 2,089                 | ▲ 311         | \$100低下(上昇)につき年間10億円の減益(増益)インパクト。<br>但し、アルミの価格変動以外にも、生産・設備状況、電力コスト、為替変動等の要素からの影響を受けるため、アルミ価格のみで単純に決定されるものではない。   |

### 株価の影響(上場有価証券減損の状況)

|                 | 減損額(税引後) | 期末日経平均株価                       |
|-----------------|----------|--------------------------------|
| 第3四半期(累計)計上     | ▲67億円    | 8,455円(2011年12月末)              |
| 通期業績見通し<br>織込み額 | ▲100億円   | 株価が8,700円の水準で推移した場合に発生する減損額を試算 |

(注意事項) 本資料における業績予想や将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。従いまして、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。